

修了生の活躍事例

技能・資格が過不足なく身につく！ 職業マッチングもサポート！

前職は食品製造ラインで加工の仕事をしていたのですが、難しくてもやりがいがある別の業種への転職を決意。職業訓練を知ったきっかけはハローワークのポスターでした。基礎から学べるカリキュラムと知り「未経験の自分が一から学ぶにはこれしかない！」と感じ、受講を決めました。

訓練では知識や技能を幅広く学べたことで、選択肢を狭めることなく自分に合う職種を見極めることが出来ました。訓練中に取得する資格も職種によっては必須。必要な技能・資格が過不足なく身につく場所、それがポリテクです。

訓練を通して自分に合った職種に巡り合う

受講を決めた段階では正直、業界・職種まで絞り込んでいませんでした。受講申し込み前に「施設見学会」に参加することで訓練毎に対象となる職種の具体例や要求される特性について理解することが出来、自分の特性・目指しているワークスタイルに合う職種が指せる金属加工科を選択しました。就職活動の段階では「公開求職情報制度」を活用して関心のある企業様を事前に訪問・見学することで、仕事内容をより具体的に知ることが出来ただけでなく、会社の展望や職場の雰囲気までうかがい知ることが出来、納得した上で今の職場を選ぶことが出来ました。

有限会社エフケー工業

田中 将太さん (32)

[⇒前職：食品加工(正規)]

金属加工科
(6か月訓練)

令和 4年 9月 入所
令和 5年 2月 修了



作業を一貫して任せてもらえるよう技能を高めていきたい

部品が大型になるほど、形状が複雑になるほど高い溶接技能が要求され、使用する設備や工順も増えていきます。今はまだ小組立（船体部品の一部組立）の工程の一部を任されているに過ぎませんが、小組立工程全体、大組立（船体ブロック組立）まで、任せてもらえる範囲を広げられるよう今後も溶接技能を向上させていきたいです。また社内にはクレーンの有資格者が少ないため、クレーンを使った段取り作業から組立作業まで一貫して任されるような多能工を目指していきたいです。

就職先企業での活躍

田中 将太さんの業務

現在は船体の外板を補強する骨組みに当たる部品の溶接組み立てを担当しています。作業では大型の製品を効率よく溶接組み立てする必要があり、半自動溶接のスキルが役立っています。隣接するドックでは完成した船舶の進水式が行われ、自分がモノづくりに関わっていることを日々実感しながら仕事をしています。



採用者の声 代表取締役 深町 信様

業務は訓練とは大きく異なる製品規模、溶接条件のため最初は戸惑いも見せてましたが、条件や勤所を自分で探求しながら積極的に技能向上に取り組んでくれています。今はまだベテランの指導を受けながらの業務ですが、ポリテクセンター出身者は基礎がしっかりしているので上達が早いと感じます。



有限会社エフケー工業（山口県下松市）ポリテク生の採用は田中さんが初

数十メートルに達する大きさの船体部品を誤差数mm以下という要求精度で組み立てることが可能な人材と設備を擁し、県内最大級のばら積み貨物船（全長300m、載荷重量7万トン）を建造するドック内で船体を溶接作業で組み立て製造している会社です。

- （製品例）ばら積み貨物船を構成する各種構造物
- ・倉庫部、船体外板部
 - ・船内各所で使用される貯蔵タンク類 など

